

東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第77回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

インプラントの問題症例と対処法 近藤 尚知 先生

岩手医科大学・歯学部・補綴インプラント学講座教授

平成26年2月27日(木) 17:00～18:30
歯学部B棟1階 講義室

抄録

インプラント治療に関しては、すでに最新の治療ではなくなり、欠損補綴のひとつの選択肢として認識されつつある。しかしながら、未だトラブルが絶えないのも現状であり、これまでの問題症例の多くは、歯科医師の不勉強や見当違いの思い込みが原因であった。加えて、根拠のない価格競争やコスト削減意識が、倫理観の欠如につながり、最悪の事態に発展するケースもあった。これまでは、最新の技術に関しては、一部の限られた場でしか勉強することができなかったのも事実であり、大きな視点でみれば、行政や大学機関等の教育する側にも問題があったという意見もある。ただし、仮にそうであったとしても、この情報化社会の中で、自分が間違っているかどうかさえ分からずに、時代錯誤的な治療をしている歯科医師もいると聞く。必要な知識や情報を提供する場、その情報の交換や共有できる場を設けることは急務であると同時に、今後はインプラント治療に携わっていない歯科医師も、インプラント治療の長所短所などについては、ブリッジおよび義歯と比較しながら説明できる基礎知識は持ち合わせるよう努めるべきである。なぜなら、これから卒業する新人歯科医師でさえこれらの教育を受けており、すなわち、インプラントに関する基礎知識は歯科医師として当然持ち合わせるべきものとなってきているからである。本講演においては、現在までに問題としてとりあげられた症例を検証することによって、インプラント治療についての理解を深めていただき、我々歯科医師が、今後進むべき方向についても検討を加えたい。

連絡先: 第77回モデレーター 小山重人 (顎口腔再建治療部・
歯科インプラントセンター)